

ソーン トン不破直子教授研究業績一覧

2011 年 3 月 20 日

1. 学位論文

発表年月	名称	機関名
1967 年 4 月	“The Concept of Short Poetry: William Carlos Williams and Matsuo Basho”	(米国) インディアナ大学大学院比較文学科 MA 論文
1973 年10月	“The Birth of the Essay: A Comparative Study of Michel de Montaigne and Yoshida Kenko”	(米国) インディアナ大学大学院比較文学科 PhD 論文

2. 著 書

発刊年月	著書名	単/共著	共同執筆者名	発行所	備考
1976 年 3 月	『国境を越えた文学』	共著	剣持武彦他 17 名	英潮社	「随筆の誕生」の章
1977 年 6 月	『ジャンル別比較文学論』	共著	小田基他 26 名	カルチャー出版	「随筆文学」の章
1980 年 9 月	『アメリカ女流作家群像』	共著	福田陸太郎他 20 名	駁々堂	「ユードラ・ウェルティアー」の章
1988 年 8 月	『コンパクト和英辞典』	共著	山村三郎他 15 名	旺文社	編集委員・校閲
1988 年11月	『ユードラ・ウェルティアーの世界——饒舌と沈黙の神話——』	単著		こびあん書房	
1990 年 7 月	『アメリカ——弱者の目を通して』	共著	徳末愛子他 8 名	こびあん書房	「ユードラ・ウェルティアー：公民権運動の渦中から」の章
1994 年 3 月	『滅びと異郷の比較文化』	共著	大久保直幹他 31 名	恩文閣出版	「ユードラ・ウェルティアーとコーク」の章
1994 年	<i>The Force of Vision: Proceed-</i>			U of Tokyo P	“Visual Art in Eudora Welty’s

	<i>ings of the XIII Congress of the ICLA, Vol. 1</i>				<i>The Golden Apples"</i>
1996 年 4 月	『アメリカ短編小説を読み直す』	共著	並木信明他 20 名	北星堂	「醜女を美女にする現代の奇蹟」他 1 章
1998 年 3 月	『アメリカ映像文学に見る少数民族』	共著	広瀬佳司他 14 名	大阪教育図書	「異文化衝突の悲観論」の章
2003 年 8 月	<i>Strange Felicity: Eudora Welty's Subtexts on Fiction and Society</i>	単著		Praeger Publishers (Greenwood Publishing Group)	
2007 年 11 月	『ギリシアの神々とコピーライト——「作者」の変遷、プラトンから IT 革命まで』	単著		學藝書林	
2011 年 3 月	『起源と差異としての翻訳——翻訳文学と近代日本の文化変容』	共著	井上健他	恩文閣出版	「世界文学としての翻訳文学——ゲーテ、マルクス、シュピッツァ、モレッティー」の章

3. 学術論文

発表年月	論文名 (すべて単著)	発行所・雑誌名
1981 年 10 月	「あの夕陽はどの夕陽?——フォークナーの “That Evening Sun” における聖書のアーキタイプの分析」	富士見同人会 『ふじみ』 第 3 号 25–35 頁
1982 年 3 月	「詩人と社会——ロバート・ブライと 1970 年代のアメリカ」	『日本女子大学英米文学研究』 第 17 号 101–116 頁
1983 年 5 月	「岡倉天心『茶の本』と当時のアメリカ文壇」	日本比較文学会 『比較文学』 第 25 巻 40–49 頁
1983 年 5 月	“Robert Bly's Poetry and the Haiku”	イリノイ大学 <i>Comparative Literature Studies</i>

-
- | | | |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| | | Vol. 20, No. 1, pp 1-13. |
| 1983 年12月 | 「春の暗闇を見た少年——ウエルティ『春の婦人たち』の神話的解釈」 | 富士見同人会『ふじみ』5号 55-65 頁 |
| 1984 年3月 | 「神話の南部——ユードラ・ウエルティの“Moon Lake”によせて」 | 『日本女子大学英米文学研究』第19号 79-89 頁 |
| 1984 年3月 | 「岡倉天心『日本の目覚め』の英米における受容」 | 日本比較文学会『比較文学』第26巻 29-37 頁 |
| 1984 年10月 | 「ウエルティの <i>The Optimist's Daughter</i> 成立の事情」 | 富士見同人会『ふじみ』第6号 7-19 頁 |
| 1985 年3月 | 「神話と科学の渦巻——ウエルティ作“The Wind”の一解釈」 | 『日本女子大学紀要・文学部』第34号 1-10 頁 |
| 1985 年8月 | “Medusa-Perseus Symbolism in Eudora Welty's <i>The Optimist's Daughter</i> ” | サザン・ミシシッピ大学 <i>The Southern Quarterly</i> , Vol. 23, No. 4, pp 64-76. |
| 1985 年11月 | 「ユードラ・ウエルティの文学と神話」 | 富士見同人会『ふじみ』第7号 37-48 頁 |
| 1986 年2月 | “Eudora Welty's 'Sense of Place' Period” | 日本アメリカ文学会『アメリカ文学研究』第22号 139-154 頁 |
| 1987 年3月 | 「ユードラ・ウエルティのナッチェス地方」 | 『日本女子大学英米文学研究』第22号 59-74 頁 |
| 1988 年12月 | “From Garrulity to Myth: Eudora Welty's Dramatic Monologues” | 富士見同人会『ふじみ』第10号 21-37 頁 |
| 1990 年3月 | 「アイデンティティのサスペンス——『いちばん醜い巡礼』の魅力」 | 『日本女子大学英米文学研究』第25号 97-106 頁 |
| 1990 年3月 | 「われらみな死すべきものにして…——ユードラ・ウエルティの地中海小説」 | 『日本女子大学紀要・文学部』第39号 67-77 頁 |
| 1990 年7月 | 「ユードラ・ウエルティと公民権運動」 | 研究社出版『英語青年』1990年8月号 11-14 頁 |
| 1992 年3月 | 「 <i>The Golden Apples</i> の成立——短編小説から一巻本へ」 | 『日本女子大学英米文学研究』第27号 119-132 頁 |
| 1992 年9月 | 「『黄金の林檎』における絵画からの発想」 | 日本英文学会『英文学研究』第69号第1号 77-90 頁 |
| 1992 年12月 | 「 <i>The Ponder Heart</i> における『脱構築』指向」 | 富士見言語文化研究会『ふじみ』第14号 43-48 頁 |
-

-
- | | | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1993 年 3 月 | 『 <i>The Professor's House</i> における『自然』の視点』 | 『日本女子大学英米文学研究』第 28 号 29-40 頁 |
| 1996 年 3 月 | “The Japanese Women as a Representation of the Nation: Lafcadio Hearn's Ironic Colonialism” | 日本比較文学会『比較文学』第 38 号 248-232 頁 |
| 1997 年 3 月 | 「ユードラ・ウェルティの歴史観——“The Demonstrators”に見る『過去』の諸相」 | 『日本女子大学英米文学研究』第 32 巻 83-95 頁 |
| 1997 年 3 月 | “Sideshadows of Life: <i>The Bride of the Innisfallen</i> and Other Stories and ‘Other’ Stories” | 日本アメリカ文学会『アメリカ文学研究』第 33 号 19-34 頁 |
| 1997 年 11 月 | “A Hilarious Destruction: <i>The Ponder Heart</i> as a Metanarrative” | サザン・ミシシッピ大学
<i>The Southern Quarterly</i> Vol. 36 No. 1 43-50 頁 |
| 1998 年 3 月 | “Voices and Aphasia in Eudora Welty's “The Demonstrators”” | 日本英文学会 <i>Studies in English Literature</i> (English Number 1998) 69-82 頁 |
| 1998 年 3 月 | 『『私は女の話をする』—— <i>The Golden Apples</i> におけるレイブの意味——』 | 『日本女子大学英米文学研究』第 33 巻 49-60 頁 |
| 1998 年 1 月 | “The Future of American Literature: From Ethnicity to Individuality” | 立命館大学アメリカ研究センター <i>Publication of the Proceedings from The Kyoto American Studies Seminar</i> —1997 157-167 頁 |
| 1999 年 3 月 | “The Mystery of the Narratee in Eudora Welty's ‘Old Mr. Marblehall’” | 『日本女子大学英米文学研究』第 34 号 77-86 頁 |
| 2001 年 3 月 | “Aspects of Postmodern Authorship: The Aum's Sarin Attack and Murakami Haruki's <i>Undergrond</i> (An Extended Version)” | 『日本女子大学英米文学研究』第 36 号 59-69 頁 |
| 2001 年 3 月 | “The Un-Novelness and the Novelness of Eudora Welty's <i>The Golden Apples</i> : A Challenge to the Reader” | 『日本女子大学紀要 文学部』第 50 号 27-45 頁 |
| 2004 年 3 月 | 「〈原初の笑み〉の謎——ウェルティ “At The Landing” のサブテクスト——」 | 『日本女子大学英米文学研究』第 39 号 53-62 頁 |
-

-
- 2004 年 3 月 「ポストモダン時代の比較文学—— 日本比較文学会『比較文学』
イスタンブールからニューヨーク 第 46 巻 75–89 頁
へ——」
- 2005 年 3 月 “Translation as a Counter-Colonial 『日本女子大学英米文学研究』
Tool: Okakura Kakuzo’s *The Book of* 第 40 号
Tea”
- 2005 年 3 月 「南部ゴシックの社会と心理—— 日本ウィリアム・フォークナー
「白人」が奴隷となる日——」 協会『フォークナー』第 7 号
- 2007 年 3 月 「ロマン主義と『作者』」 『日本女子大学英米文学研究』
第 42 号 1–15 頁
- 2007 年 3 月 「マルクス主義と『作者』——マル 『日本女子大学文学部紀要』
クス主義文学批評の変遷を辿って」 第 56 号 43–59 頁
- 2009 年 3 月 「『時間』の発明——プラトンから 『日本女子大学英米文学研究』
ウエルティエーへ」 第 44 号 161–172 頁
- 2011 年 3 月 “The Advent of the Steam Locomo- 『日本女子大学文学紀要』
tive in Japanese Literature: the Kill- 第 60 号
ing Machine and the Ghost Loco-
motive (An Extended Version)”

4. 翻 訳 書

発刊年月	翻訳書名(原著者名、原著名)	発行所
1969 年 5 月	『岡倉天心・茶の本』(Kakuzo Okakura, <i>The Book of Tea</i>)	海南書房
1986 年 9 月	<i>The Voice of the Writer 1984</i> (1984 年世界 PEN 大会日本語講演集の英訳)	The Japan P.E.N. Club
1991 年 6 月	『黄金の林檎』(Eudora Welty, <i>The Golden Apples</i>)	こびあん書房
1994 年 3 月	『ボンダー家殺人事件』(Eudora Welty, <i>The Ponder Heart</i>)	リーベル出版
1995 年 10 月	『岡倉天心・茶の本』(前記の本の復版)	社会思想社
2009 年 10 月	『岡倉天心・茶の本』(前期の本の復版)	春風社

5. 総説、書評、論評など

発表年月	(分類) 題名	発行所・書名
1985 年10月	(総説)「岡倉天心と茶」	信濃茶道会『石泉』第117号 4-23 頁
1991 年12月	(書評)“Michael Kreyling: <i>Author and Agent: Eudora Welty and Diarmuid Russell</i> ”	研究社出版『英語青年』 1991 年1月号 37-39 頁
1991 年12月	(書評)「晶文社版『黄金の林檎』の誤訳について」	富士見言語文化研究会『ふじみ』 第13号 3-14 頁
1997 年1月	(論評)「日本の『英語病』は杞憂」	『朝日新聞』1月16日朝刊論壇
1997 年6月	(論評)「朝日新聞英語論争の続々編」	研究社出版『英語青年』 1997 年6月号 42 頁
1997 年9月	(論評)「英語帝国主義論議に英語教育はいかに応えるか」	情報処理学会『情報メディア』 32-3, 13-18 頁
1998 年3月	(書評)“David R. Mayer, <i>Drooping Sun, Coy Moon: Essays on Flannery O'Connor</i> ”	日本アメリカ文学会『アメリカ 文学研究』第34号 122-27 頁
2006 年3月	「福田陸太郎先生と比較文学」	日本比較文学会『比較文学』 第49巻 170-172 頁
2007 年1月	(書評)小林富久子著『ジェンダーとエスニシティで読むアメリカ女性作家——周縁から境界へ』	『図書新聞』2007 年1月号
2008 年6月	(書評)「〈本の時間〉大沢真知子著『ワークライフシナジー』と入江与四郎著『ワーク・ライフ・バランスの実践』——『学校教育法』改正で変わる大学、変わらない企業——」	『プレジデント』6月30日号
2009 年4月	(書評) Barbara Ladd, <i>Resisting History: Gender, Modernity and Authorship in William Faulkner, Zola Neale Hurston and Eudora Welty</i> (Baton Rouge: Louisiana State UP, 2007)	日本ウィリアム・フォークナー協会『フォークナー』第11号 187-189 頁
2009 年12月	(書評) Noel Polk, <i>Faulkner and Welty and the Southern Literary Tradition</i> (Jackson: UP of Mississippi, 2008)	<i>Modern Fiction Studies</i> 55.4 (Winter 2009) 849-852 頁

- 2010 年 9 月 (論説)「女性の再就職のためのリ 『大学時評』 第 334 号 52-57 頁
カレント教育」
- 2010 年10月 (論説)「茶室の民主主義」 『月刊ビルメンテナンス』
10 月号

6. 口頭発表

発表年月	題目	発表学会
1980 年10月	“On Eudora Welty’s <i>The Optimist’s Daughter</i> ”	アメリカ南部学会月例会
1981 年11月	「岡倉天心『茶の本』と当時のアメリカ文壇」	日本比較文学会東京支部大会
1982 年 5 月	「米詩人口バート・ブライと俳句」	日本比較文学会全国大会
1982 年11月	「岡倉天心『日本の目覚め』の英米における受容」	日本比較文学会東京支部大会
1989 年 3 月	“Eudora Welty’s Alien Place in Fiction”	サザン・ミシシッピ大学 Honors College 研究発表会
1989 年 6 月	“Eudora Welty and Cork, Ireland: A Regionalist’s Vision of an Alien Place”	日本比較文学会全国大会
1989 年10月	「Eudora Welty と公民権運動」	日本アメリカ文学会全国大会
1991 年 5 月	「 <i>The Golden Apples</i> における副次的モチーフの効果」	日本英文学会全国大会
1991 年 8 月	“Visual Art in Eudora Welty’s <i>The Golden Apples</i> ”	第 14 回国際比較文学会世界会議(東京)
1994 年10月	「不確実性の力——The Ponder Heart の言語観」	日本アメリカ文学会全国大会
1995 年 3 月	「日本女性の作法——八雲の目・天心の目から」創立十周年記念講演	長野県カルチャーセンター
1995 年 5 月	“The Japanese Woman as a Representation of a Nation: The Case of Lafcadio Hearn”	日本比較文学会全国大会
1996 年 6 月	“Opposing Images of the Japanese Woman in Colonial/Anti-Colonial Discourse: Lafcadio Hearn and Okakura Kakuzo”	The International Asso. of Japan Studies, 9th Convention
1997 年 5 月	シンポジア「William Faulkner とア	日本英文学会全国大会

-
- | | | |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| | メリカ南部女性作家」で「Faulkner
と Welty」 | |
| 1997 年 8 月 | “The Future of American Literature: From Ethnicity to Individuality” (A Comment on Cathy N. Davidson’s Paper)” | 京都アメリカ研究夏期セミナー |
| 1997 年 8 月 | “The Role of Okakura Kakuzo’s <i>The Book of Tea</i> in the Formation of Japan’s Identity as a ‘Modern’ Nation” | 第 15 回国際比較文学会世界会議
(ライデン) |
| 1997 年 9 月 | 「英語帝国主義論議に英語教育はいかに応えるか」研究会ゲスト・スピーカーとして | 情報処理学会情報メディア |
| 1998 年 3 月 | 「Eudora Welty の “Powerhouse” について」 | 日本マラマッド協会月例会 |
| 2000 年 8 月 | “Aspects of Postmodern Authorship: The Aum’s Sarin Attack and Murakami Haruki’s <i>Underground</i> ” | 第 16 回国際比較文学会世界会議
(プリトリア) |
| 2003 年 10 月 | 「英語グローバリズムと比較文学」 | 日本比較文学会第 41 回東京大会
シンポジウム |
| 2004 年 8 月 | “Translation as a Counter-Colonial Tool: Okakura Kakuzo’s <i>The Book of Tea</i> ” | 第 17 回国際比較文学会世界会議
(ホンコン) |
| 2004 年 10 月 | 「フォークナーと南部ゴシックの系譜」 | 日本ウィリアム・フォークナー
協会第 7 回全国大会シンポジウム |
| 2007 年 8 月 | “Maruya Saiichi’s Postmodern, Post-Feminist Authorship” | 第 18 回国際比較文学会世界会議
(リオデジャネイロ) |
| 2006 年 8 月 | 「比較文学者、アメリカ文学者、詩人としての福田陸太郎」 | 日本比較文学会東京支部シンポジウム |
| 2010 年 8 月 | “The Advent of Steam Locomotive in Japanese Literature: the Killing Machine and the Ghost Locomotive” | 第 19 回国際比較文学会世界会議
(ソウル) |
| 2011 年 1 月 | 「『時間』の発明——プラトンの知とコロンブスの無知」 | 日本比較文学会東京支部例会 |

以上
